



伊藤てる子news

てるちゃん通信 第28号

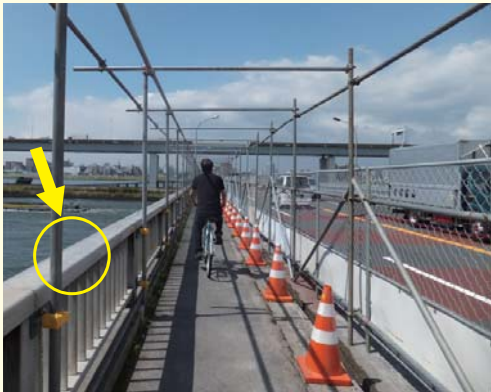
2013年11月

発行 江戸川区議会議員 伊藤てる子 TEL/FAX:6903-7742

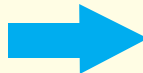
実現!

葛西橋の高欄が15cmかさ上げされ更なる安全確保へ!

かねてより、「葛西橋の欄干が低く、自転車に乗ると川に落ちそうで怖い」とのお声が寄せられ、東京都に要望を出していました。その要望が実り、昨年12月より下り車線で、今年度には上り車線の工事が始まりました。高欄は0.98mから1.13mになり、15cm高くなり、併せて歩道境のパイプ柵が車両防護柵に付け替えられ、更なる安全対策が推進されました!



工事中の葛西橋通り上り線



高欄が15cmかさ上げされた葛西橋通り下り線

臨海町・清新町コミュニティ会館の階段の手すりを設置!

臨海町コミュニティ会館の階段は手すりがなく、高齢者の方などが上り下りする際に危ないので、ぜひ手すりを設置してほしいとお声をいただき、区にすぐに要望を出したところ、本年4月に手すりを設置していただきました。このほど、近隣の清新町コミュニティ会館にも階段、スロープに手すりがつき、皆様に大変喜んでいただいています。



臨海町コミュニティ会館の階段の手すり設置を喜ぶ皆様と



清新町コミュニティ会館階段・スロープに手すり設置を喜ぶ皆様と

＝決算特別委員会で平成24年度決算審査＝

区民生活を守るために様々な意見・提案をしました！

去る九月三十日から十月十五日までの十六日間にわたって決算特別委員会が行われ、平成二十四年度決算について慎重に審議をし、皆様の代表として、生活者の目線で次のような質問・提案をしました。



質問・提案をする伊藤区議

問 **本庁舎の建て替え**について、

本庁舎については新しい機能を十分に備えた庁舎をイメージしており、今後、用地や跡地利用、財源についても検討をしていく。**新公会計制度**について、消費税の対応と今後の予定は

答 東京都方式に準拠し、仕入や売上原価の項目で計上したい。

問 **平成二十七年四月の導入に向け**、職員の研修も充実させ、万全の準備をしていきたい。**プールガーデンの廃止**と幼児の代替の水遊び場の確保について

プールサイドに陥没力所が発見され、その後の精密調査で十数力所の空洞があり、補修では安全に営業できないとの判断で営業停止、施設の廃止との決断に至った。跡地としてはテニスコートと既存施設を葛西

の防災拠点としていく。

代替の幼児の水遊び場として、葛西地域にあるジャブジャブ池などは塩素消毒や清掃を定期的に発行っており、問題ない。

問 **熟年者の見守り**における、総合人生大学の卒業生などのボランティアの活動について

答 「安心応援ネットワーク」による安否確認等の連絡体制を構築し、緊急通報システム、

「マモルくん」なども活用しながら重層的に見守りをしていく。「**安心生活応援ネット**

ワークとの連携が必要であり、地域のボランティアとの横のつながりのための情報交換の場を作る事を検討していきたい。

問 **新生児訪問の現状と、全戸訪問の「こんにちは赤ちゃん事業」**の実施について

答 はがきで新生児訪問を申し込んだ方と支援が必要な方には電話や訪問をしている。リスクがあると判断した場合は記録票を作成し、切れ目のない支援をしている。

問 新たな「東京都の液状化予測図」では、ほぼ全区で液状化の可能性があると公表された。

答 **今後の本区の液状化対策について** 確認申請時、三階建てやマンションについては液状化対応について確認している。木造二階建ての戸建て住宅は確認通知書交付時に液状化対策を呼びかけている。

問 **大規模水害対策**として、**URや都営住宅、JKKとの災害協定の締結**について

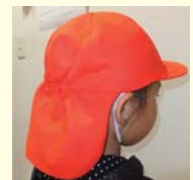
答 先日、大規模水害時の緊急避難場所の確保として、UR、都営住宅と災害協定を締結したがJKKとも締結を進めたい。**大規模災害時の広域避難**については、国や都と避難の解決に向け検討していく。

問 **西葛西駅、葛西駅の駅前違法看板**について

答 特に不動産広告物は重点指導しており、今後も葛西警察との合同取り締まりや宅建江戸川支部への指導依頼など、継続的に実施していく。

問 **保育園の熱中症対策**として

答 **日よけ付きカラー帽子**導入を現在使用中の帽子買い替えに伴って、導入していく。



保育園熱中対策用帽子

問 **発達障がい支援センター**設置について

答 設置については**年内に公表できるよう検討**中である。場所については利便性の良い所を考えている。

問 葛西地区に育成室増設を

答 葛西育成室では発達障がいの通所者が増加している事は認識している。区全体として検討していく。

問 **小中学校の適正配置基本計画の策定**について

答 学校の適正配置については、教育委員会と都市開発部、経営企画部で検討している。基本計画には統合と学校改築計画とを関連づけて、全体的に今後の考え方を示していきたい。

問 統合の今後の計画と清新町地域の**小中連携教育の更なる推進**を

答 統合の計画は、全校の結論は出ないため、近未来の方向性を出しながら全体をみていく。対象地域については個別に丁寧に対応し、小中連携教育の視点も入れて考えていきたい。

問 **不登校対策**について、**共育プラザの活用**や**鶴岡市との交流**などの新たな取り組みを

答 学習サポート教室の利用者が少ないので、更に学校と連携していく。共育プラザについては教育委員会からの提案もあり、可能性を研究していく。自然体験教室も実施している。